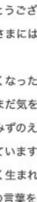


歳



建築士会青連倶楽部
善敏治さん 揮毫

MESSE (公社)福岡県建築士会 情報誌 ヴェッセ



挨拶 令和4年 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。
建築士会会員の皆さまにはすこやかに新年を迎えられた事と思います。
コロナ禍の波が低くなった昨年未だから徐々に平静を取りつつある年明けですが、まだまだ気を抜くことはできない状況は続きます。今年の干支は「壬寅」（みずのえとら）です。古来より「陽気を孕み、春の胎動を助く」とされています。これは、冬が衰へしほど春の芽吹きを生命力に溢れ、華々しく生まれることを表していると言われます。新たな生命を迎えて改めてその言葉を確認しつつ、一歩ずつでも歩みを進めたいと思います。



会長 吉川 清

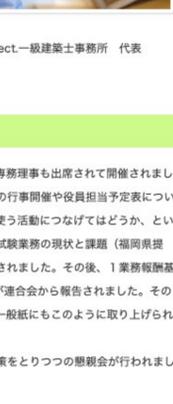
今年は福岡県建築士会創立70周年を迎えます。先人の方々に感謝しつつ、会員の皆さまとともに士会の活動について会話を重ねながら、社会に貢献するとともに会員にとっても役立つ建築士会を目指してまいります。
昨年はコロナ禍の中9月25日、延期された全国女性建築士連絡協議会（全建女）福岡大会がWEBを活用して開催されました。全国的な会議をWEBで開催できたということが実証出来ただけでなく、内容も濃い大会であったとの評価が寄せられています。一方、木材の利活用についてもさまざまな動きがあります。「公共建築物等木材利用促進法」が昨年6月改正されて、民間建築物も含む建築物一般を対象とする事になり、「ウッドチェンジ」というスローガンが掲げられています。そのような背景のなか、昨年11月20日開催された建築士会連合会全国大会の中で、「木造建築の設計・施工に係る人材育成に関する建築物木材利用促進協定」が士会連合会と国交省の間で締結されました。また、建築物省エネ法改正施行により気候風土型住宅の省エネ基準の策定について、福岡県建築指導課に提案して昨年春から協議を重ねてまいりました。前者は講習会の開催という形に、後者は4月からの旅行を目指して今年の事業につながるといえます。

資格者の団体として会員一人ひとりの活動が地域への活性化につながり、それらが集まって福岡県士会の元気を作り出すこととなります。会員の皆さまを始め関係者の方々とともに、元氣な福岡県建築士会として活動したいと思えます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

会長 吉川 清

挨拶 寅年 新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。
このメッセ原稿の依頼を受けて、とても感慨深いものがあります。1988年1月に私の発案で建築士会福岡支部の機関誌が創刊され、名称を「ヴェッセ」と付けさせていただきました。そしてそれから33年後に、この原稿を書くことになりました。7歳の「年男 今年の抱負」です。
廣刊することなく、よく続けて頂いたと感謝申し上げます。これは読んでくださる会員の皆さんと歴代編集長のお陰です。
さて改めて今年の抱負と言われ、正面面であっています。これまで新年にあたり、「今年の抱負」を特段考えたことがなかったからです。今は、人生の折り返し点を過ぎ、登山と言えば8合目まで登ってきて、頂上が見え隠れています。どんな頂上があるかそこらで、そこからどんな眺めが見えるのか、とても楽しみです。ある本に「人生は今、一日だけの連続である」とありました。その言葉通り、一刻一刻、一日一日を大切に、頂上を目指して登って行きたいと思っています。



福岡地域会 善敏治

挨拶 寅年 新年の抱負

謹んで新春をお祝い申し上げます。
旧年中より公益社団法人福岡県建築士会に参加させて頂き大変お世話になりました。特に現在、参加させて頂いている「多世代住居による空き家対策&コミュニティ再生事業」の目標は沢山の感動とご縁を頂くことができました。有意義な年となりました。
近年、様々な事業を行っていく中で私たちが取り巻く環境はコロナ禍やウッドショック等、外的要因による「対応」が強いられており、今までの「NORMAL（当たり前）」に変化を促し、更新させ、「NEWNORMAL（新たな当たり前）」を創造することがとても大切になっております。
そんな中、ICTやSNS等が発達した今日でも、オンラインとリアルとで会える「人と人」との結びつきにどれだけ助けられてきたかと思うと一層、この会等を通して出会った皆様方とのご縁に感謝をすと共に、これらの「出合いの場」の大切さを改めて感じております。

今年、年男の48歳の私。
「寅」年とは、「成長する、象徴が生まれる年」と言われているそうです。
私までたくさんの方々にご支援・ご指導を頂いた分、ご恩返しをする年と私は決めました。
私の大切にしている人生の理念は
「皆の望みを叶えることが自分の望みとなる人生を生かすこと」です。
新年もご縁のある皆様方と共に成長し、変化を来し、業界や福岡に大きく貢献できる建築士として今年も様々な地に足を選び、皆様方のお役にたてよう一層「設計道」に励んでまいります。

建築士会所属の会員の皆様におかれましては、健康やかな年となり、益々のご発展となるようご祈念申し上げ、ご挨拶と代えさせていただきます。新年もよろしくお願致します。



福岡地域会 吉本 高広 LOOPS Architect 一般建築士事務所 代表

報告 12/3 九州ブロック会長会議

令和3年度第一回会長会議が12月3日、KKR熊本で連合会の近角会長と成藤専務理事も出席されて開催されました。議事はまず今年度の事務局会議と事業報告、さらに中間収支報告と今後の行事開催や役員担当予定について協議して承認されました。その中で、繰越金の額が多いがもって事業等に使う活動につなげてはどうか、という意見が出されました。続いて各県提出議題の質疑応答の中で特に、建築士試験業務の現状と課題（福岡県提出）や気候風土型住宅への対応（長崎県提出）について熱心な議論が交わられました。その後、1業務報酬基準改正について、2BIM講習会について、3公共建築物の木材活用について、が連合会から報告されました。その中で3、の資料として木造建築の拡大について朝日新聞の記事が提示され、一般紙にもこのように取り上げられるようになったと報告されました。
終了後、コロナ禍の規制が緩められた事もあり、席を立つ事もなく感染症対策をとりつつの懇親会が行われました。

会長 吉川 清

コラム 「建築と法律」(73)

先月、建築紛争の控訴審判決が2件ありました。そのうち1件は、平成26年に訴訟が始まり約8年かかれました。しかも、上告ということになれば、更に時間がかかります。依頼者は、不安で落ち着かない日々を送っています。
このように、建築紛争は時間がかかるものがありますので、日頃のトラブル予防を心がけてください。トラブル予防の行動指針は、契約遵守、法令遵守、十分な説明だと思います。

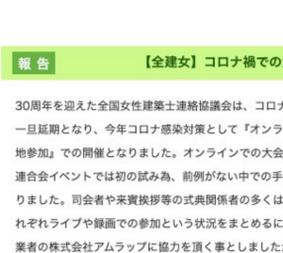


(公社)福岡県建築士会 福岡地域会 会員・弁護士(宮崎県弁護士会) 矢野間 浩司

【会員のための無料法律相談のご案内】
1月21日（金）に福岡県内で無料相談をします。電話での法律相談は随時実施いたします。いずれもご希望の方は電話にてご予約ください。秘密は厳守いたします。電話0985-65-8800（あさひ法律事務所・宮崎市旭1-7-15MRKビル2F）

(公社)福岡県建築士会 福岡地域会 会員・弁護士(宮崎県弁護士会) 矢野間 浩司

案内 第12回 まちづくりコーディネーター養成セミナーin立花口



長屋門が残る立花口集落の町並み



今年の10月にオープンした東部地区観光交流拠点施設「こみんかみかん」

このたび、オミクロン株の感染拡大の影響により開催を中止することとなりました。
お申込みをいただいた方には誠に申し訳ございません。
また、改めて開催する場合は再度ご案内いたしますが、現時点で未定です。
今後ともどうぞよろしくお願いたします。

まちづくり委員会では平成23年度より地域コミュニティの中で建築士としての役割を果たす、まちづくりコーディネーターの養成に業としてセミナーを取り組んでおります。
新宮町立花口地区は、中世に築かれた立花城とゆかりの町並みが残っており、地元のまちづくり団体「TAP（Tachibana All Powers）」が立花口地域の活性化のために活動をしています。また、九州産業大学景観研究センターでは、立花口地区の景観調査を行っており、その一環として、建築都市工学部住居・インテリア学科の松野陸研究室は、歴史的建造物を実測調査しています。
今回のセミナーでは、まちづくり団体の皆様と一緒にまち歩きをし、参加者の皆様と一緒に歴史的建造物の保存と活用等について意見交換をしたいと思います。

日時：令和4年1月30日（日） 集合時間 12：50
集合場所：新宮町立花口公民館
※5～6台の駐車スペースしかありませんので、お知り合いの方と一緒に相乗りで来ていただくようお願いいたします。
参加費：5000円（資料代）
参加者：先着 15名まで
スケジュール：
受付 12：50～13：00
まち歩き 13：00～14：00
講演&意見交換 14：00～15：30
現地解散 15：30～

★詳細内容・申込書、集合場所は [こちら](#) をご覧ください！
まちづくり委員会 まちなか・地域貢献部会長 山田龍雄

案内 専攻建築士「新規・更新」の受付開始

専攻建築士の新規並びに更新申請の受付が始まりました。平成28年度に新規又は更新の申請をされた方は、今年度が更新の年となりますので、受付期間内に申請をお願いします。また専攻建築士の認定に期限はありません。過去に更新を見送られた方も条件が整った時点で復帰更新が可能ですので、受付期間内に申請をお願いします。

- 1.受付期間：1月4日～2月末日。
- 2.申請方法：申請書の提出、もしくはWeb申請（更新）。
 - ・申請方法によって費用が異なります。→ 専攻建築士関連情報
 - ・Web申請 → 専攻建築士管理システム
- 3.新規申請の認定要件：
 - ・申請年の前年の1月1日から申請年の12月31日まで1年間に12単位以上取得。
 - ・建築士資格取得後の専攻領域の実務経歴年数が5年以上ある。
 - ・当該領域の責任ある立場での実務実績(要第三者による証明)が3件以上ある。
- 4.更新申請の認定要件：
 - ・申請年の5年前の1月1日から申請年の前年の12月31日までの5年間に60単位以上取得。

CPD・専攻建築士委員長 佐々木郁夫

案内 講習会「4号建築物の設計手法」

『4号建築物』と呼ばれる、2階建て以下の木造住宅等の建築物は、構造設計の義務付けは無く、建築確認の審査を省略できるものとなっており、審査機関によっては構造関係の資料提出も求められないのが現状です。しかし、建築士は根拠に基づいた設計をする必要があります。
今回のセミナーでは、木造建築物の構造設計に精通している(株)川崎構造設計の川崎氏をお招きし4号建築物の仕様規定の解説を行いながら、2回に分けて木造の設計の必要性などについて解説していただきます。皆様のご参加、お待ちしております。



- 開催日 ■ 定員：各15名
1回目：R04年02月19日（土）14:00～17:00 ～量算計算～
2回目：R04年02月26日（土）14:00～17:00 ～N値計算、土台・基礎・地盤～
- 会場 ■
北九州市立商工貿易会館（シティプラザ）702会議室
住所：北九州市小倉北区古船場町1番35号
- 講師 ■
川崎 薫氏（株式会社 川崎構造設計）
- 受講費 ■ ※当日、会場にてお支払い下さい
・ 会員 ¥2,000/-/1回につき
・ 会員外 ¥2,500/-/1回につき
- テキスト ■
『在来軸組工法住宅の設計手法』 権敬書 ¥3,500-（税込）
お持ちの方は、ご持参ください。
お持ちでない方は、当日販売致します。申込時に購入希望を記載下さい。
- 申込締切 ■
R04年02月07日（月）まで
添付の申込用紙に必要事項を記入の上、(公社)福岡県建築士会事務局までメールもしくはFAXでお申込み下さい。

★申込用紙は [こちら](#) をご覧ください！
青年・女性委員会 南 絵美

報告 【全建女】講演会「木挽棟梁のモノサシ」杉岡邦氏

今回の基調講演をお願いした杉岡さんに初めてお会いしたのは、九州地方整備局主催の公共フォーラムの時だったと記憶しています。当時から木挽棟梁として新聞に連載をされていたりしていました。講師をどなたにお願いするかにあたり、全建女のテーマである『和空間』を支える木の話を、単に材料の話でなく、背景の文化、森林から建築までつながる話など、深い話が聞けると確信してご依頼させていただきました。その後、朝倉に被災木を使った東屋を建てるワークショップに参加させていただいたり、杉岡製材所敷地に建てられた方丈板倉の棟上げに立ち会わせていただいたり、交流が続きました。全建女の運営方針がなかなか定まらない頃、最悪は斎からweb配信の可能性もあるとお伝えしたところ、少々でも有名なのが樹齢1200年超の「鬼杉」です。ご意見で、結果、やはり会場からのライブ配信があったことが正しい判断だったと強く感じています。皆様からも、たくさん感想を届けていただき、意義のある講演会となったことにホッとしています。

東屋の建て方

方丈板倉棟の棟上げ

福岡県建築士会 副会長
上田 貴樹

報告 【全建女】コロナ禍での大会式典・受付の運営の裏方

30周年を迎えた全国女性建築士連絡協議会は、コロナ感染拡大で昨年は一旦延期となり、今年コロナ感染対策として『オンライン』&『一部現地開催』での開催となりました。コロナ対策での大会開催については、連合会イベントでは初の試み、前例がない中での手探りの準備となりました。司会者や来賓挨拶等の式典関係の多くは、全国各地からそれぞれライブや録画での参加という状況をまとめるにあたり、各配役専門業者の株式会社ムラブに協力を頂く事となりましたが、大会をどのように行うかによって配信の仕方や関わるスタッフの作業内容・予算も異なる為、福岡の実行委員会をはじめ連合会の委員と術アムラップさんとで何度も検討を行い、関係者みんなで作り上げた大会となりました。福岡会場のみ関係者に限り、コロナ感染対策を万全に行って会場へ参加頂きました。

式典会場の様子

■受付担当スタッフの感想■
コロナ禍により会場参加者は少なかったものの、受付では衛生面と通常とは違った対応の準備もありました。コロナ対策を周知する貼り紙の製作や、受付時の検温や消毒など、日頃は受ける側で慣れた事でも、開催側として準備を検討するなど、貴重な経験となりました。
当日は大きな問題もなく終わって良かったです。（小川敬枝）

受付（コロナ対策）の様子

私は、会場での受付を担当させていただきました。コロナ禍で注意しながらの受付対応でしたが、会場参加者皆様にご協力(検温、消毒等)を頂き無事に終了できて良かったです。ありがとうございました。
控室では、色々な果物に頂いたお菓子が沢山並べられていた中でお菓子でもオンライン開催ながら全国大会なんだ!!と改めて感じる事ができました。（廣木麻利）

記念品の「被災木」葉を来場者に配布

受付班としては、コロナ対策に細心の注意を払いました。受付で記念品（基調講演の杉岡さんから提供頂いた被災木を加工したおわり）を配布しましたが、お気に入りの木目やデザインや久留米餅紐のしおりを選ぶ参加者の方々の笑顔が印象的でした。（眞沢香里）

青年・女性委員会委員長 樋口 はる香

報告 【全建女】九州PR企画&被災木しおりについて

ここでは、全国女性建築士連絡協議会福岡大会の「九州PR企画」2つと「被災木しおり」についてご紹介したいと思います。
本来、全建女の地方大会は、式典終了後、実行委員会が企画したエキスカージョンに参加したり、個人で周辺を散策して周ったりして、その地域を堪能するのを楽しむの一つです。しかし、今回、来場できたのは福岡県在住者のみ。結果的に、配信会場が福岡にあるという状況になってしまいました。そこで、少しでも福岡県や九州に来る気分を味わっていただくと思い、「九州PR企画」を二つ考えました。
一つ目は、福岡会場以外で、複数人が集まってリモート視聴する事に事前に名乗りをいただいた、そこに九州・沖縄各県の銘菓詰め合わせと、各県女性委員長たちからのメッセージをお届けするというものです。
九州・沖縄の女性委員長は、お菓子の目標個数とおおよその金額をお伝えしておいたと、女性委員長たちの個性が爆発した女性多様性で量産の銘菓が届けました。それを福岡県の女性委員長3名で仕分けし、県ごとに袋詰め、メッセージカードを付けて、さらに後送する人数分の「被災木しおり」と合わせて発送しました。
緊急事態宣言が出る県もあり、中、直前でリモート視聴を断念したところも出てきましたが、最終的に9県にプレゼントボックスをお送りしました。杉やヒノキの樹皮を剥いて紙に使用し、見た目も美しく、香って美味しい、食べておいしい「九州の味と香りのお届け」をお届けすることができました。九州ブロック連絡協議会をはじめ、多くの方々に快くご協力いただき、届いた先からは喜びの声も届き、残念ながら中止した「交流会」の代わりにこんなかなと思います。

九州味と香りのプレゼントボックス

各県の銘菓詰め合わせ袋（女性委員長たちからのメッセージカード付き）

九産大星野研究室による動画撮影風景

被災木しおり

青年女性委員会 女性部会長 近藤富美

報告 11/27ヘリテージマネージャースキルアップ第2期講習会を終えて

コロナ禍の1年であったが対策を講じて、去る、11月27日に第2期のHMSスキルアップ講習会の全課程を修了することができた。講習会はHMを対象に6月に開講して全6回の合計25時間の講義と演習から成り、更に演習課題の受講が必要となる。

6日目の最終日1日は赤松先生（NPO都市・建築遺産保存支援機構）に平成30年建築基準法改正・歴史的建造物の活用に向けた条例整備について詳しく紹介された。2日目は上田先生（福岡県文化財保護課）に歴史的建造物の保存活用計画の策定と計画という演題で重要な文化財建造物等の保存活用計画策定の方法について実習を交えた講義があった。それから、演習課題である民家の実測調査、作図、報告書の講義を行い、講習会の全課程を終え、修了式を歴史的建造物委員会が主催した相談窓口の相談員として登録できることとなり、今回は修了者21名、相談員登録者10名となった。今後、行政や一般の方より歴史的建造物の調査や活用について相談に対応することになり、更には、修理の設計や施工業務に繋がると考えている。

赤松先生の講義の様子

上田先生の講義の様子

民家演習課題の講評の様子

修了式

まちづくりHMB部会 中島委員長

え〜るピア久留米において、令和3年12月10日（金）に、久留米・浮羽地域会 青年・まちづくり委員会主催で、「都市計画制度に関する研修会」を開催いたしました。

コロナの状況は少し落ち着いてきていますが、感染対策は徹底し、参加者の皆様には検温・手指の消毒を行っていただき、マスク着用の上、会議に参加頂きました。

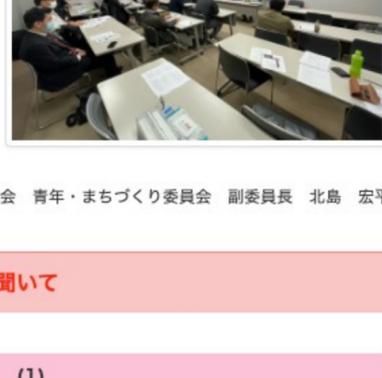
約1年半ぶりに顔を合わせての講習で、計13名に参加していただき、無事に終了いたしました。

久留米市都市計画課からは、「住み続けたい久留米を目指して」という題目で、久留米市の現状及び課題について都市計画を通して説明していただき、その課題解決のための取組を土地利用・都市施設・市街地開発事業という手段を用いて、久留米市のこれからと目指す都市構造について共有していただきました。

どの都市も抱える「人口減少社会を見据えた都市計画」や、近年頻発する災害に対して、「防災・減災の都市計画」についても学ぶことができる研修会でした。質疑応答では、様々な角度からの質問に丁寧に応え頂きました。

久留米市建築指導課からは、「都市計画法の改正」の講義と、「開発許可制度の見直し案」についての説明を頂きました。R3.12.10現在、久留米市においてパブリックコメントを募集中ということで、質疑応答等の時間は設けませんでした。市街化区域及び非線引き都市計画区域における災害リスクの高いエリアについての見直し等の説明を頂きました。

久留米市における現状と様々な問題点、展望を共有できた有意義な時間となりました。



久留米・浮羽地域会 青年・まちづくり委員会 副委員長 北島 宏平

チョット聞いて

面白計算 (1)

×算÷算いい加減(1)

10÷9=1.111……ですね

123456789-12345678=?

15873×7=?

これはどうでしょう？ (続く)

福岡地域会 柘植 成光

貴方の趣味の事や面白い話、経験談や失敗談など何でもお寄せ下さい。

[用紙等]

400字程度。ハガキ、FAX、メール等でご応募ください。

[応募規定]

氏名 / 住所又は勤務先 / 連絡電話番号

[宛先]

福岡県建築士会事務局

E-mail : shikaifu@crocus.ocn.ne.jp

FAX : 092-481-2355

案内

事務局だより

福岡県産木材利用促進協議会から「福岡県産木材利用プロフェッショナルバスツアー」のご案内です。

例年、好評をいただいています福岡県産木材プロフェッショナルバスツアーですが、今年度は原点に立ちかえり、素材生産の現場「伐採地」を学んでもらいます。

木材は、「原木（丸太）」から生産されますが、材径、曲がり具合や節の様子等に左右されて製材されていることはあまり意識されず、木造木質化の設計でうまく反映されないことが多々あります。そこで、伐採直前の原木がどのような状態なのか、どのように伐り出され、選木されるのか、伐採後の森林はどうなるのか、伐採地と施業風景を、その目で確かめる機会を企画しました。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：2022.01.15（土）

集合場所：日本銀行福岡支店前→バス移動→筑紫野市平等寺の伐採地

定員：20名

参加費：無料 ※昼食は事前に済ませてください。

その他：コロナ禍対策のため、当日はマスク着用のご協力をお願いいたします。

タイムスケジュール：

12:30～ 集合・受付

13:00 出発

(バス移動)

14:15～15:45 伐採地の見学

(バス移動)

17:00 解散

★詳細内容、お申込みは [こちら](#) をご覧ください！

★服装等ご注意ください点がございますので、詳細内容をご覧ください。

◆お問合せ先◆

福岡県産木材利用促進協議会事務局 ☎092-566-8511

事務局

案内

連合会だより

「日本建築士会連合会 HP」トップページの下段に「連合会からのお知らせ」「新着情報」が掲載されていますのでご覧ください！（2021/12/31現在）



[連合会HPはこちら](#)

事務局

福岡県建築士会写真倶楽部

シリーズ「建物の遺影」



建物の遺影・九電記念体育館（2019年撮影）

この建物は、1964年九州電力10周年を記念し建設されました。ここでは、ドリフターズの公開放送やクイーン、キッス、エアロスミス、エルトン・ジョンなどのコンサートが行われ、大相撲九州場所にも使われました。また、2005年に発生した西方沖地震では避難所として使用されましたが、老朽化に加え照葉積水ハウスアリーナの完成に伴い2019年3月に閉館・解体となりました。

写真倶楽部「建物の遺影」 福岡地域会 江崎 有

コラム

シネマサロン

今回は、鹿児島県が舞台の女性たちの映画を紹介します。

1本目は『夕日のあと』（2019年）。鹿児島県阿久根の沖にある長島で、プリの養殖を夫と営んでいる五月（山田真歩）は男の子の赤ん坊を引き取りました。そして男の子が7歳になった頃特別養子縁組の申請をし、やっと本当の家族になれると喜んでいました。一方、1年前に島にあらわれて食堂で働いている買地谷しおり演じる茜は、地域の子供たちを温かく見守り続けていました。茜は東京のネットカフェに乳児を置き去りにした罪で服役した過去があり、その乳児がこの男の子だったのです。産みの母親と育ての母親、母になりたい二人の女性が織り成す物語です。

2本目は『六月燈の三姉妹』（2013年）。鹿児島市内の商店街にある営業不振の和菓子店を再建しようという三姉妹一家の話です。長女は出戻り、次女は離婚調停中で東京から帰ってきたばかり、三女は婚約破棄をして不倫中、そして離婚しているが一緒に店をしているという両親。そんな家族が、六月燈のお祭りにあわせて新作和菓子売り出そうと奮闘します。三姉妹を吉田羊、吹石一恵、徳永えり、母親を市毛良枝と、私の好きな美人女優たちが出演しています。



福岡地域会 廣田栄作

[建築関連団体行事予定表はこちら](#)

[→ 先月の行事報告](#)



[→ 今月以降の行事予定](#)



(公社)福岡県建築士会賛助会員 HPにリンクしております

(公社)福岡県建築士会情報誌 メッセージマガジン 令和4年1月7日発行 第187号 通巻第403号

発行：(公社)福岡県建築士会 鮎川透 編集：広報委員会 池田友三

事務局：〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-18 福岡建設会館6階

TEL 092-441-1867 FAX 092-481-2355

E-mail:shikaifu@crocus.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.f-shikai.org>

今月の編集員

鮎川 透（福岡）、池田友三（北九州）、上村公仁隆（福岡）、大高栄三（福岡）、善 敏治（福岡）、田中英樹（福岡）、末永美穂（事務局）

（ ）名は地域会名、五十音順、敬称略

※メールマガジンの写真を無断で転写することを禁じます。